

平成 29 年度 SGH・SSH ボルネオ海外研修

私たちは、8月14日～20日の1週間マレーシアへ海外研修に行きました。1、2日目は首都クアラルンプールで、3日目以降はボルネオ島で研修を行いました。

クアラルンプールでは、Setiawangsa 校を訪問し、持続可能性というテーマで、資源・環境保全・文化について発表を行いました。生徒のみなさんに校内を案内してもらいました。



Setiawangsa 校のみなさんと



プレゼン発表の様子



特別支援学級の授業見学

ボルネオ島では、まずロッカウィ動物園を訪問し保護されている動物たちを見ました。絶滅危惧種にも指定されているオラウタンやボルネオ島でしか見られないテングザル、ボルネオ象などを見ることができ、とても貴重な体験ができました。



人間みたいなチンパンジー



テングザル



鼻の短いボルネオ象

モンゴルバル村ではホームステイをさせていただき、ウルスナガン小学校の訪問、ゴム採取体験、吹き矢体験をしました。小学校訪問ではソーラン節を披露し、とても喜んでもらえました。村の子どもたちは民族衣装に身を包み、民族舞踊を踊ってくれました。



ウルスナガン小学校のみなさん



吹き矢体験



ゴム採取体験

5日目は、サバ大学を訪問し、白井先生、チャールズ先生からマレーシアと日本の文化の違いやマレーシアの環境問題について講義をしていただきました。標本づくりもしました。



白井先生の講義



昆虫採集！



標本づくり

6日目は、ピナンパン村を訪問し、NPO 法人 CLEAR のみなさんの活動を見学しました。



コンポスト



肥料づくり



CLEAR のみなさんと

毎日、いろいろなところを訪問し、たくさんの人に出会い、たくさんの経験をし、多くのことを学ぶことができたボルネオ研修でした。最初は英語でのコミュニケーションに戸惑い、なかなか前へ出られない生徒もいましたが、マレーシアの人たちの優しい人柄に助けられ、最後のほうは自分から積極的に関わっていかうという姿勢がたくさん見られました。生徒たちを大きく成長させてくれた、そんな研修になったと思います。この経験を今後の生活に活かしていってくれたらと思います。